小枝の弓矢

公園や街路樹の剪定枝、
落ちている枯れ枝が弓に。
春のススキの穂は、
矢にぴったり。

つかうもの

- 弓　ほどよくしなる枝、たこ糸
- 矢　まっすぐで硬い草（ススキ、オギ、セイタカアワダチソウなど）。人や動物には向けないこと！
- 的　吊り下げたフライパンや紙

矢をつくる

矢の羽根の役割をするのは、草の穂や葉の部分。半分くらいに切り落とすとすっきりします。飛ばすときは、この部分で弦をはさんで後ろに引きます。

矢の長さが、弓の3分の2くらいになるよう、茎を切りましょう。

弓をつくる

弓にする枝の両端から1㎝のところに切れ込みを入れます。まず片方の切れ込みにたこ糸をそわせて巻きつけ、ほどけないよう結びます。

枝をしならせ、反対側の切れ込みにたこ糸を巻きつけて、きつくしならせすぎないように結びます。弦がゆるんだら、弓の端に巻きつけて張りを強くします。

草木屋
埼玉・川口市で在来種苗木の生産販売をする植木屋さん。 http://www.kusaki.net/